

JASRA 建設発生土の講習会

12月1日開催で参加募集

全国建設発生土リサイクル協会（JASRA、赤坂泰子理事長）は、12月1日に都内で第2回目の建設発生土リサイクル講習会を開催する。会場とウエブでの参加が可能。申し込みは21日まで受け付ける。

講習会は第1～3部に分けて開催する。第1部は「現場における自然由来重金属等含有土への対応」について専門家が説明し、質疑応答する。第2部は災害発生土への対応事例を紹介。第3部は建設発生土の施策を紹介する。第1部の講師は国立環

境研究所資源循環領域試験評価・適正管理研究室の斎倉宏史室長が務める。

第2部は河川災害への対応などについて企業が発表する。第3部では国土交通省総合政策局公共事業企画調整課の担当者が

「建設発生土の有効利用方策」について、先端建設技術センターの新妻弘章企画部長が「建設発生土土質改良プラント第三者認定制度」についてそれぞれ説明する予定だ。

開催時間は午後1時～4時25分。会場は東京都千代田区神田駿河台3・

2・11の連合会館。後援は建設副産物リサイクル広報推進会議。

定員は会場が100人、ウエブが100人を予定。参加費はJASRAの正会員と賛助会員、行政機関、大学等教員・学生、建設コンサルタンツ協会員が無料で、それ以外が1人5000円（税込み）。

参加申し込みはメールで受け付ける。申し込み先のメールアドレスはJASRAのホームページに掲載している。講習会はCPD、CPDSの認定プログラムとなる予定。

問い合わせは、JASRA事務局（☎03・3526・2129）まで。